

報道関係 各位

「 新型コロナ自粛期間中の地域支援活動に関して 」

熱海マリンサービス株式会社は、令和2年4月1日に創立30周年を迎えたことを契機に、これまでボランティア活動として行っていた、「未来の子供たちに、きれいで楽しい地球を残す」活動を事業活動として展開していくため、新規事業部「未来創造部」を立ち上げました。

新型コロナウイルスによるさまざまな問題が発生しているタイミングでもあったため、未来創造部として何ができるかを考え、外出自粛・休業によって行き場を失っていた熱海の海の幸を、直接消費者に届ける「おいしいコロナ支援」のプロジェクトを始めました。

熱海のホテルや旅館、飲食店の休業により、海産物や干物を供給していた魚市場や水産会社も、販売先を失って大変な状況です。他方、とくに都市部の消費者は買い物に出ることも難しく、新鮮でおいしい食べ物が手に入りにくいと聞き、熱海・宇田水産とのコラボによって、生産者と消費者をつなぐプラットフォームを設けたのです。

今は熱海に来ることのできない市外のみなさんに、良質の海産物を水産会社からお得価格で直接お届けすることで、漁師さんも水産会社もうれしい、おいしい海産物を食べられる生活者もうれしい、海の恵みも無駄にしないという、みんながうれしいプロジェクト「海からの贈り物」。ネットショップでの販売です。[\(https://umikaranookurimono.stores.jp/\)](https://umikaranookurimono.stores.jp/)

未来創造部アドバイザー・枝廣淳子が代表を務める有限会社イズ(未来創造部のビジネスパートナー)のホームページや、枝廣のFacebook、メールマガジンにて広報発信に力を入れた結果、「熱海発・海からの贈り物」企画は、これまで1月に数件だったネット注文が数日間で300件を超えるなど、大きな反響を呼び、リピーターや新規の購入者が増え続けています。購入者からは「おいしい海の幸をありがとう」「お互いがんばりましょう!」「コロナが終息したら熱海に遊びにいきます」といったフィードバックも寄せられており、単なる商品の販売を超えて、熱海のファンづくりにもつながっています。

これからも未利用の海産物をおいしく食べるレシピ開発なども含め、熱海から新たな食文化の創造・発信を続けます。また、自粛期間中の地域支援活動として、渚町のカフェ渚入口にて「おふくちゃん販売所」を設け、おいしい元気野菜と手づくりキムチ販売を実施しましたので、ご報告します。

未来創造部の活動については、近日中に公開予定のウェブサイト(<https://mirai-sozo.work>)でもご覧になれます。

参考情報として、未来創造部アドバイザーの枝廣淳子は、環境問題、エネルギー問題、地方創生などの専門家で、NHK「クローズアップ現代+」に生出演の予定です。熱海での取り組みをベースに発言する考えです。

■放送日:2020年5月27日(水)22:00~(総合TV)

■タイトル 「”新型コロナ”日本の食に異変あり!?(仮)」

また、新聞の見開きページで、山田養蜂場の山田社長と枝廣淳子との対談、および切り取ってポスターにできる「コロナウイルスに負けない大事な5つのこと」が掲載されました。各地の新聞への掲載予定をご紹介します。

日経(5/21)、茨城新聞(5/21)、産経新聞(5/23)、上毛新聞(5/23)、中日新聞(5/24)、東京新聞(5/24)、北陸中日新聞(5/24)、日刊県民福井(5/24)、福島民友(5/24)、神奈川新聞(5/25)、下野新聞(5/25)、北海道新聞(5/26)、福島民報(5/26)、奈良新聞(5/26)、徳島新聞(5/26)、信濃毎日新聞(5/27)、読売新聞(5/28)、北國(富山)新聞(5/27)、山梨日日新聞(5/28)、神戸新聞(5/28)、山陽新聞(5/28)、新潟日報(5/28)、山口新聞(5/28)、高知新聞(5/30)、岐阜新聞(5/31)

【問い合わせ先】 熱海マリンサービス株式会社
未来創造部 光村 0557-85-0330